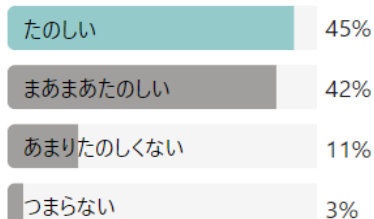


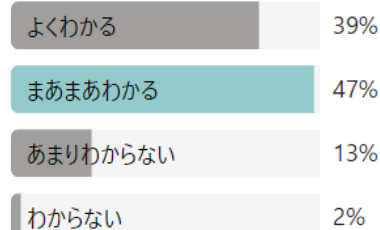
1 自己評価結果

令和4年度1年生から4年生の児童に、アンケートを行ったところ、「英語活動は楽しいですか。」という質問に対し、「楽しい」「まあまあ楽しい」と回答した児童は、全体の87%だった。また、「DVDで話していることは、わかりますか。」という質問に、「よく分かる」「まあまあ分かる」と回答した児童は、全体の86%だった。このことから、多くの児童がDVDの話の内容を理解しながら、楽しんで英語活動に取り組むことができていることが分かる。一方で、英語活動が楽しくないと感じる児童もいた。話の内容が理解できていないことが要因として考えられる。DVD視聴後に、担任が話の内容や英語表現の振り返りを行うことで、理解を深め英語活動に楽しみを見出せるようにしたい。また、「英語を一生懸命聞いたり、自分のことを話したりしている」と回答した児童は、全体の94%だった。英語を聞く、英語で伝えるという経験を低学年から積み重ねることで、ALT・STと関わるときには、進んで英語を使って会話を楽しむ児童が数多くいる。

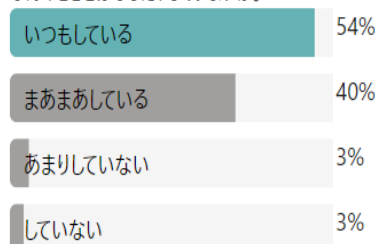
1. えいごかどうかはたのしいですか。



2. DVDではなしていることは、わかりますか。



3. えいごタイムでは、いっしょうけんめいえいごをきいたり、じぶんのことをはなしたりしていますか。



2 学校関係者評価結果

保護者の感想には、次のようなものがあった。

- ・姉妹で英語で挨拶をし合ったり、英語でじゃんけんをしたりと遊びの中に取り入れています。
- ・幼稚園でも英語を学習して、小学校では難しくなるのかと思っていましたが、歌ったり、体を動かしたりして楽しく学習しています。
- ・先生と英語で挨拶できると言って喜んでいました。

低学年から学び始めることで、英語に対して苦手意識や不安を感じるものが少なく、楽しんで英語に関わることができていることがわかる。また、毎日の生活や遊びの中で自然に学んでいくことの大切さが実感されていることもわかった。今後も児童が英語活動のDVDを楽しく視聴し、わかる喜びを味わえるように努めていきたい。

3 まとめ

子供たちは日々のDVD視聴を通じて、英語で話されている内容をおおむね理解することができている。また、英語活動を通じて、英語に慣れ親しみ、英語を進んで使ってみようという態度が育っている。

今後の課題としては、子供たちの「英語を使いたい」という意欲を高め、「英語って楽しい」という気持ちを持ちながら英語活動に取り組めるようにしていきたい。そのためには、視聴している時の担任の関わり方、視聴後の補充学習の内容などをより効果的にできるようさらに研究を進めていきたい。